



第16回 精神病態セミナー

ゲノムによる不安症の 病態解明と診断補助の可能性

演者：大井 一高 先生

岐阜大学大学院医学系研究科
脳神経科学講座 精神医学分野
准教授

日 時 2023年 3月 20日（月） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法 Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費 無料

参加方法 3月17日（金）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

不安症を含むほとんどの精神疾患は、中等度以上の遺伝率を呈する多因子遺伝疾患であり、臨床的・遺伝的に異種性を示す複雑な疾患である。その遺伝基盤を解明するため、いくつかの国際コンソーシアムは、不安症を含む多くの精神疾患や中間表現型の大規模全ゲノム関連解析（GWAS）を行い、関連ゲノム領域を同定している。本邦においても、日本人を対象とした不安症のGWASが行われ、また、全ゲノムSNP情報を利用した解析による不安症と各精神疾患間や不安症と中間表現型間の遺伝的基盤の共通性が示されるなど、不安症ゲノム研究はこの10年で飛躍的に発展した。本セミナーでは、我々の不安症ゲノム研究成果を紹介するとともに、ゲノムに基づく診断補助の可能性を考察する。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）